

令和6年度環境ふくい推進協議会 総会、環境活動事例報告会 次第

日時：令和6年4月22日（月）10時～11時
会場：福井県県民ホール（アオッサ8階）

○総会

- (1) 会長挨拶
- (2) 福井県エネルギー環境部長挨拶
- (3) 環境ふくい推進協議会会長表彰式
- (4) 議事
 - ・第1号議案 令和5年度事業報告について
 - ・第2号議案 令和5年度取支決算報告について
会計監査報告
 - ・第3号議案 役員改選について
 - ・第4号議案 令和6年度事業計画（案）について
 - ・第5号議案 令和6年度取支予算（案）について

○環境活動事例報告会

令和5年度「環境ふくい未来創造事業」助成者5団体の活動について動画報告

- ①あわらの自然を愛する会（あわら市）
- ②福井小水力利用推進協議会（越前市）
- ③さとやま子育てコミュニティいけだのそら（池田町）
- ④アノミアーナ（小浜市）
- ⑤特定非営利活動法人 森林楽校・森んこ（おおい町）

令和6年度 環境ふくい推進協議会 総会



環境ふくい推進協議会

協議会の目的

協議会は、福井県内の環境保全活動にかかる多くの個人、事業者、各種団体、行政機関等の知恵と行動力を結集し、県民が一体となって進める環境保全に関する県民運動を実践することを目的とする。

会員数（令和6年4月1日）現在

個人	920人	企業	214社
団体	121団体	行政	18自治体

令和6年度環境ふくい推進協議会会長表彰 受賞者一覧

環境ふくい推進協議会では、環境保全活動のより一層の推進を図ることを目的として、地道に環境保全活動に努められ、その活動が賞賛に値する個人・団体・学校・企業を表彰しております。令和6年度の受賞者は次のとおりです。

個人の部（4名）

氏名（市 町）	表彰対象活動	功績概要
朝日 憲雄（福井市）	環境美化	地区の子どもたちの遊び場であるさくら公園やその周辺の除草やごみ拾い、花壇の整備等の美化活動を30年以上継続して行っています。
藤田 満雄（福井市）	資源循環社会 環境教育 環境美化	円山地区で住民と協力して地区内のごみステーションをパトロールし、ごみの分別指導を行っています。また、地区の広報誌等を利用した環境美化啓発や環境教育、公民館で出前講座を行っています。
山岸 稔（福井市）	環境美化	新測町公園周囲数百メートルの花壇にクレマチスなど多品種の花を植え管理しており、SNSや新聞、テレビでもその活動が話題となっています。
清水 武正（大野市）	環境美化	徳座地区で小学生の登下校に見守り隊として同行する傍ら、ふれあい公園周辺や小学校の通学路、名水マラソンコース沿いの清掃活動や除草を継続して行っています。

団体の部（6団体）

団体名（市 町）	表彰対象活動	功績概要
まつもと輝きたい（福井市）	環境美化	北弘公園を周辺住民達が明るい気持ちで集えるような公園にしたいという思いから、公園の美化活動を行っています。また、砂場を花壇に造り変え、花壇周辺に小道を整備し、毎年1～2回程度植え替えを行っています。
積山を育てる会（福井市）	自然環境保全 環境教育 環境美化	積山とその周辺の里地里山の整備を行い、積山の林道や遊歩道を活用する「積山ウォーク大会」を継続して開催しています。さらに、自然体験を通して地区住民や近隣の園児・小学生に対する環境教育活動に取り組んでいます。
日本野鳥の会福井県（勝山市）	自然環境保全 環境教育	鳥類の生息状況の基礎資料収集に関する調査業務を長年行っています。また、会員は環境アドバイザーとしての講義や、小学校と連携し希少種コシアカツバメに関する授業、野外観察を行っています。
グループ山川田（越前市）	自然環境保全 環境美化	坂口地区中津原町で美化活動や自然保護活動を積極的に行っています。休耕田を利用した花壇づくり、コウノトリ等の生き物や自然保護のために土壌や水生昆虫を増やすことを目的としたピオトープの整備し、観察会等を開催しています。
郷の森里楽（越前市）	自然環境保全 環境教育	安養寺地区内の県域絶滅危惧Ⅰ類に分類される希少両生類の生息地を保全するため、生息環境の整備を継続して行っています。産卵状況、生息数等の確認や、小学生を対象に学習会、観察会を開催しています。
環境シティズンシップ教育の会 （坂井市）	地球温暖化防止 環境教育	環境問題や地球温暖化対策の解決に向けて、自ら考え行動していける人材の育成に尽力しています。地元コミュニティセンターでの出前講座や、市内の小学6年生を対象に、オリジナル教材を用いてストップ温暖化対策授業を行っています。

学校の部（1校）

学校名（市 町）	表彰対象活動	功績概要
福井市美山中学校（福井市）	環境教育 環境美化	生徒自らが「ふるさと美山をきれいにしよう！」という考えのもと、毎年様々な活動に取り組んでいます。長年、美山地区のフラワーロードの苗植えや除草などの環境保全活動に取り組んでおり、さらに、SDGs講習会の開催など、環境美化について楽しく工夫しながら活動しています。

企業の部（1社）

企業名（市 町）	表彰対象活動	功績概要
二光技建株式会社（敦賀市）	環境美化	毎月1回、事業所周辺、各海岸、金ヶ崎宮、担当公共工事の現場周辺、バイパス高架下等、市内各所の清掃活動を行っており、SNSで美化活動を発信することで、住民の環境美化への意識向上に貢献しています。また、護岸工事の際に流出した自然石を利用したSDGsの達成にも取り組んでいます。

令和5年度事業報告

I 環境保全活動促進協働事業

1 協議会会長表彰

◆個人3 団体6 学校2 企業1 を表彰

個人：小山弘三、藤田正久、森岡和夫

団体：安居地区壮年会、小浜海洋少年団、福井県生活学校連絡協議会

土曜塾、フラワーラブの会、ふくい路面電車とまちづくりの会

学校：小浜市立今富小学校、勝山市立鹿谷小学校

企業：株式会社北陸環境科学研究所

2 ふくいまるごと環境学び舎

○より質が高く、効果の高い環境活動を行うため、環境について学ぶ講演、セミナー等を開催する。

◆環境ふくい未来創造事業助成団体へのアドバイスを実施(随時)

◆セミナーを開催

開催日：11月23日(木・祝) 講師：野吾奈穂子氏 (SDGsシンガーソングライター、JICA職員)

テーマ：家庭の省エネ、身近なSDGsに関する内容

3 環境マネジメント推進事業

○主に事業所の環境管理者等を対象に、環境に関する先進的取組みを行っている企業の見学会を実施する。

◆開催日：11月17日(金) 見学先：SMART ENERGY WEEK関西(インテックス大阪)

内容：太陽光、二次電池、スマートグリッドバイオマス発電等、新技術の展示

4 市町環境連携事業

○市町および市町の推薦する民間団体が企画する事業に対しその一部を助成することにより、県内一円の環境保全活動の活性化を図る。

◆10市町に助成

・福井市：福井市環境フェア

・敦賀市：つるが環境フェア

・小浜市：ドギーバッグ普及

・大野市：自然ふれあい探検隊

・あわら市：ふるさと自然教室

・越前市：アースデイえちぜん

・坂井市：こどもエコひろば

・永平寺町：環境ポスターコンクール

・南越前町：不法投棄防止啓発

・おおい町：間伐材飯盒炊爨

5 こどもエコクラブ活動促進事業

○こどもエコクラブへの登録を呼びかけるとともに、活動しているクラブへの支援を行い活動の活性化を図る。

・助成団体数：2クラブ(福井市鷹巣小学校、坂井市立丸岡南中学校)

・エコクラブ登録数：30クラブ、メンバー数：1,556人(令和6年3月31日現在)

6 SATOYAMA国内ネットワーク推進

○本県の里山里海湖における生物多様性の保全や利活用の活動を国内のネットワークを通じて県外へアピールする。

- ◆SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク
 - ・幹事会 10月2日(月)オンライン開催
 - ・総会 3月書面開催
 - ・交流会 石川県内の震災の影響により中止
- ◆ふるさと環境フェアへ出展 (11月23日(木・祝))
 - ・SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワークの活動紹介

7 専門家による団体サポート事業

○団体の活動内容向上のため、必要とする専門家を協議会が派遣し、一定期間、活動をサポートする。

- ◆派遣する専門家の分野 マネジメント、ICT、司法書士、行政書士、中小企業診断士等
- ◆実績：藤島高等学校生物部（外来種判定アプリの開発）

8 親子で環境活動推進事業

○小学生の親子を対象に、『50の自然体験』に関連する自然体験イベントを実施

- ◆イベント：『星キャン！in奥越』
- ◆日 時：11月11日(土)～12(日) ※宿泊
- ◆参加者：9家族29名
- ◆会場：福井県立奥越高原青少年自然の家、福井県自然保護センター
- ◆主管：福井県キャンプ協会

9 プラスチックごみ削減推進事業

○近年大きな問題となっているプラスチックごみの削減のため、身近にできる取組み事例を紹介するセミナー等を開催する。

- ◆映画：「マイクロプラスチック・ストーリー」オンライン上映を実施
上映期間：3月7日(木)～13日(水)

10 福井の環境を守るための資格取得支援事業

○会員が環境保全に関係する資格を取得する際の必要経費を助成する。

- ◆対象者：企業または団体会員
- ◆助成金額：試験料または講習料の3分の2
(一つの企業または団体会員あたり上限5万円まで)
- ◆募集期間：上半期(7月20日(木)～9月29日(金))
下半期(10月2日(月)～令和6年3月8日(金))
- ◆実績：下半期：自然観察指導員の会、福井きのこ会、いけだのそら 計6名
PROJECT WILDエデュケーター研修

Ⅱ 普及広報事業

1 情報誌発行事業

- ◆「みんなのかんきょう76号」を協議会会員、小・中・高等学校等に配布（令和6年3月）

2 ホームページ等による普及広報

- ◆ホームページやFacebookを活用し、お知らせやイベント情報を発信（随時）
- ◆Facebook 投稿回数48回

3 メールマガジンの配信による普及広報

- ◆「イベントお知らせ編」 27回【毎月第2、4金曜日】
- ◆「法令編」 15回【随時】

4 「ふくいっ子に体験してほしい50の自然体験」普及広報

- ◆冊子を印刷し、各小学校新1年生全員に配布（令和5年7月）

5 各市町環境フェアにおける普及広報

○県内で開催される市町の環境フェアにブース等を出展し、環境について県民に考えてもらう機会を提供する。

- ・ 5月21日（日）アースデイ越前2023（越前市）
- ・ 6月18日（日）さばえ環境フェア2023（鯖江市）
- ・ 9月16日（土）さかいこどもエコひろば（坂井市）
- ・ 9月30日（土）、
10月1日（日）めがねのまちさばえSDGsフェス2023（鯖江市）
- ・ 10月14日（土）ハートアンドアートフェス（若狭町）
- ・ 11月3日（金）福井市環境フェア
- ・ 11月4日（土）大野市Eco遊園地
- ・ 3月2日（土）あわら市環境展

<出展内容>

- ・ 県産木材ぶんぶんどま作り
- ・ 竹紙を使用した折り紙体験
- ・ エコおみくじ
- ・ 足こぎ、手回し発電機
- ・ 環ふ協の活動PR（パネル展示、パンフレット配布）

Ⅲ 県補助事業

1 環境アドバイザー派遣事業

○学校や自治会等が開催する研修会へ講師を派遣 104件（講師124名）

<派遣分野>

- ・自然体験：68件（84名） 環境教室：36件（40名）

2 リペア・リユース推進事業

○壊れたものを修理して使う、いらなくなったものをほしい人に譲るなど、修理する文化、リサイクル文化の定着を目指した取組みを実施する。

◆修理ボランティアの人材育成

- ・洋服とぬいぐるみの修理を行うための技術を取得する講座の開催（3月23日（土）、24日（日））
- ・おもちゃの修理技術を習得する講座の開催（11月11日（土））

◆古本市の開催

- ・古本市の開催（8月5日（土）、6日（日）、11月23日（木・祝））
- ・無人古本市の設置 ユーアイふくい、霽陽会館

3 ふるさと環境フェア開催事業

○県民への自然環境問題や地球温暖化防止対策の周知、循環型社会の形成に向けた意識の醸成、生物多様性保全意識の定着のため、イベントを通じた環境学習の場として環境フェアを開催する。

◆テーマ

未来へつなげるふくいの環（わ）
～取り組もうSDGs！目指そうカーボンニュートラル！～

◆ワーキンググループ開催

第1回 4月20日（木） 第2回 5月30日（火）
第3回 7月18日（金） 第4回 9月4日（月）

◆開催日時・会場

令和5年11月23日（木・祝）福井県産業会館にて開催

◆結果

来場者：約4千人

ステージイベント：海洋環境専門家 木村尚 氏講演、ごみ分別教室など

出展ブース：33企業、団体

新たな取組：・公共バスでの来場者へマイボトルプレゼント

- ・キッチンカーの食器を全て紙で提供し、回収再生（脱プラ）
- ・一斉ライトダウン呼びかけ



4 家庭の省エネ推進事業

- 地球温暖化防止を県全体で推進するため、手軽に取り組める省エネ活動を県民に強く意識させ、自ら実践するよう普及啓発を実施
- 当事業のテーマを「デコ活ふくい」とし、各種取組みを実施

①デコ活②③④

◆デコ活ふくい専用WEBページの運用、テレビ番組の放送

- ・専用のWEBページを制作し情報を発信（会員登録者1,127人）
- ・毎週、省エネ等に関連したテレビ番組を放送

◆ウォームシェアの実施

- ・エアコンを消して、公共施設や民間施設・店舗などの暖かい場所に出かけることにより、家庭における消費電力を抑制する「ウォームシェア」の取組みを実施
- ・QRコードを使用したスタンプラリーを実施
（11月15日～2月29日）



◆うちエコ診断の推進

- ・家庭の年間エネルギー使用量や光熱費などの情報をもとに、家庭のライフスタイルに合わせて省エネ対策を提案する「うちエコ診断」の利用を促す取組みを実施
- ・イベント等でうちエコ診断の体験コーナーを実施

◆ライトダウンキャンペーンの実施（11月23日）

- ・家庭の節電のため夜間の照明を消すことを促すキャンペーンを実施
- ・ライトダウンを実施した様子の写真投稿を募集・WEBページで公開
- ・敦賀気比神宮や鯖江めがね会館にも消灯に協力いただいた

敦賀気比神宮のライトダウンキャンペーン（敦賀気比-気比）
→鯖江市 めがね会館ライトダウン



→敦賀市 敦賀神宮 大鳥居



◆ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の普及啓発

- ・温室効果ガスの削減に加え、生活を豊かにするZEHの様々な魅力を広く県民に周知するため、テレビ番組を制作
- ・県主催の省エネ住宅関連のイベントに参加し普及啓発を実施（2月10日）
- ・住まいの展示場家の森と連携し、ZEHの体験イベントを実施（2月）

◆スマートムーブの普及啓発

- ・“移動をエコ”にするため、自転車や公共交通機関の利用やエコドライブなどのテーマでテレビ番組やCMを制作

IV 特別会計

環境ふくい未来創造事業

○環境保全団体の活動を支援

◆第1回育成支援部会（7月18日(火)）において申請団体によるプレゼンテーションを実施

◆第2回育成支援部会（3月21日(木)）において助成団体からの事業報告会を実施

◆令和5年度助成実績

・スタート応援枠（団体を立ち上げてから5年未満の団体等への助成） 0団体

・共働活動応援枠（新たに他団体と共働して活動する団体等への助成） 5団体

◆環境フェアにて活動紹介動画を上映

〈 共働活動応援枠 〉

申請団体名 代表者名・所在地	普段の活動内容	助成を受けて行う活動の概要	助成 (円)
あわらの自然を愛する会 会長 河田勝治 あわら市	<ul style="list-style-type: none"> ・地元小学校やこども園と連携した自然体験活動 ・民間林間伐と下草刈り、国有林保全 ・イベント実施、果樹や加工品の販売 	<p>【『お宝を守ろう！ ～後世に遺したい、草花・生物～』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤尾湿地内での「自然観察会」「浮島体験会」の実施 ・専門家による合同研修会の実施 ・「チラシ」(参加者教本)の製作 	16万
福井小水力利用推進協議会 会長 増田頼保 越前市	<ul style="list-style-type: none"> ・小水力に関する調査研究、普及啓発活動 ・小水力を利用した地域づくり活動の支援 ・小水力利用事業者の連携協調促進 ・小水力に関する政策提言 	<p>【越前地域の環境・伝統持続プロジェクト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・越前和紙を学習する学校 ・宝探しツアー「浪漫街道(定友地区)」の実施 ・展示会による水の大切さと利活用のPR 	39万
さとやま子育てコミュニティ いけだのそら 代表 秋元美奈 池田町	<ul style="list-style-type: none"> ・「子育てコミュニティ」での自然体験の提供 ・「森のようちえん」における自然の中での保育活動 	<p>【いけだのそら森あそび基地づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未利用材を使った森の秘密基地づくり ・森のジャムづくり、柿もぎと吊るし柿作り ・ツルを用いたリースづくり 	39万
アミアーナ 代表 西野ひかる 小浜市	<ul style="list-style-type: none"> ・海ごみに関する調査活動 ・海ごみ回収のシステムづくりと地域行政への提案 ・海ごみの再資源化、観光資源化、教育旅行プログラム化 ・海ごみ問題に関する啓発活動、団体支援活動 	<p>【Button Up to Blue Fuku】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Button Up to Blue Fuku」の実施 「自分たちの手で美しい福井の海を未来につなぐ行動をする」ことを目的とした研修会の名称。主に企業を対象としている。 	39万
特定非営利活動法人 森林楽校・森んこ 代表 萩原茂雄 おおい町	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育の推進 ・まちづくりの推進 ・環境保全活動 ・子どもの健全育成を図る活動 	<p>【針葉樹の里山林を広葉樹との混合林化する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人工林の間伐と広葉樹の植林 ・植樹体験会、林内見学会の実施 	39万

令和5年度 一般会計収支決算報告

第2号議案

収入の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	予算との比較
会費	2,400,000	1,663,500	△ 736,500
(1) 個人会費	400,000	213,500	△ 186,500
(2) 事業者会費	2,000,000	1,450,000	△ 550,000
負担金(県)	3,400,000	3,400,000	0
(1) 県	2,000,000	2,000,000	0
(2) 市町	1,400,000	1,400,000	0
寄附金	0	0	0
諸収入	0	13,000	13,000
繰越金	3,489,752	3,489,752	0
補助金	34,603,000	34,495,028	△ 107,972
計	43,892,752	43,061,280	△ 831,472

支出の部

項目	予算額	決算額	予算との比較
運営費	700,000	637,882	△ 62,118
(1) 総会費	300,000	269,536	△ 30,464
(2) 諸会議費	150,000	130,820	△ 19,180
(3) 事務費	250,000	237,526	△ 12,474
事業費	42,263,000	39,887,640	△ 2,375,360
I 環境保全活動促進事業費	4,500,000	2,813,593	△ 1,686,407
(1) 協議会会長表彰	200,000	176,758	△ 23,242
(2) ふくいまるごと環境学び舎	900,000	815,180	△ 84,820
(3) 環境マネジメント推進事業	700,000	254,698	△ 445,302
(4) 市町環境連携事業	900,000	555,830	△ 344,170
(5) こどもエコクラブ活動促進事業	100,000	34,419	△ 65,581
(6) SATOYAMA国内ネットワーク推進	300,000	299,656	△ 344
(7) 専門家による団体サポート事業	200,000	100,550	△ 99,450
(8) 親子で環境活動推進事業	300,000	274,135	△ 25,865
(9) プラスチックごみ削減事業	300,000	270,937	△ 29,063
(10) ふくいの環境を守るための資格取得支援事業	600,000	31,430	△ 568,570
II 普及広報費	3,160,000	2,778,359	△ 381,641
III 県補助事業	34,603,000	34,295,688	△ 307,312
(1) 環境アドバイザー	1,196,000	904,240	△ 291,760
(2) リペア・リユース推進事業	249,000	233,788	△ 15,212
(3) 家庭の省エネ推進事業	27,164,000	27,163,660	△ 340
(4) あるさと環境フェア開催事業	5,994,000	5,994,000	0
繰出金	850,000	850,000	0
予備費	79,752	0	△ 79,752
計	43,892,752	41,375,522	△ 2,517,230

収入済額	43,061,280	円		
支出済額	41,375,522	円		
差引残額	1,685,758	円	(翌年度へ繰越)	

令和5年度 特別会計収支決算報告

1 特別積立金

収入の部 (単位：円)

項目	予算額	決算額	予算との比較	備考
記念事業積立金（繰越金）	61,870	61,870	0	
繰入金	0	0	0	
諸収入	0	0	0	
計	61,870	61,870	0	

支出の部 (単位：円)

項目	予算額	決算額	予算との比較	備考
—	0	0	0	
計	0	0	0	

収入額－支出額＝繰額（次年度繰越金） 61,870 円

2 環境ふくい未来創造事業特別会計

収入の部 (単位：円)

項目	予算額	決算額	予算との比較	備考
寄附金	400,000	465,859	65,859	北陸労働金庫等
繰入金	850,000	850,000	0	一般会計
繰越金	5,067,809	5,067,809	0	
諸収入	40	47	7	利息
計	6,317,849	6,383,715	65,866	

支出の部 (単位：円)

項目	予算額	決算額	予算との比較	備考
環境ふくい未来創造事業	6,000,000	1,360,000	△ 4,640,000	助成30万×4団体 助成16万×1団体
手数料	317,849	0	△ 317,849	
計	6,317,849	1,360,000	△ 4,957,849	

収入額－支出額＝繰額（次年度繰越金） 5,023,715 円

会計監査報告

環境ふくい推進協議会規約第11条第4項の規定により、令和5年度の事業及び会計執行状況について監査しましたので、その結果を下記のとおり報告します。

令和6年 7月 15日

環境ふくい推進協議会

会長 林 正博 様

監 事

鈴木秀治

監 事

吉田裕晃

記

1 監査した書類等

- (1) 令和5年度事業執行関係書類類
- (2) 会計書類帳簿類等
 - (ア) 収入伺綴
 - (イ) 会費徴収簿
 - (ウ) 支出負担行為伺綴
 - (エ) 支出命令決議書綴
 - (オ) 現金出納帳
 - (カ) 予算差引簿
 - (キ) 預金通帳
 - (ク) 金券(切手、収入印紙)

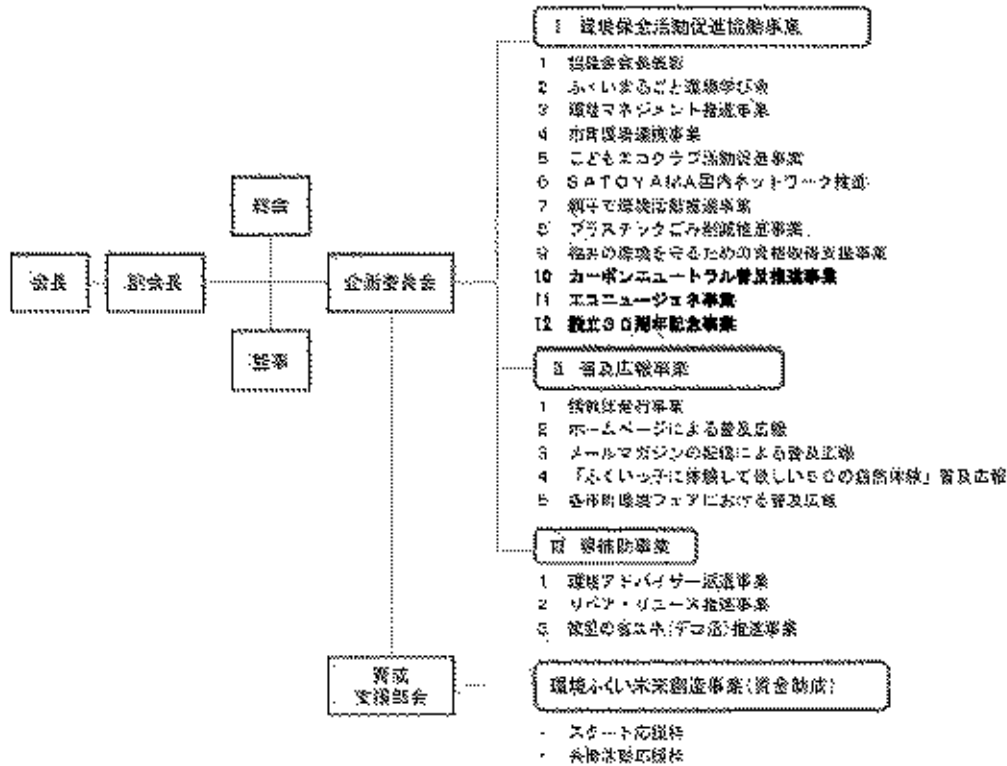
2 監査結果

上記諸帳簿について監査を行ったところ、事業の執行および会計経理は適正に処理されており、良好と認める。

役員改選について


令和6年度 事業計画（案）

環境ふくい推進協議会事業体系図




I 環境保全活動促進協働事業


- 1 協議会会長表彰 200千円



[内容] 環境保全活動のより一層の推進を図るため、地道に環境保全活動に努められた団体等について総会時に表彰を行う。
- 2 ふくいまるごと環境学び舎 800千円
[前年 900千円]



[内容] より質が高く、効果の高い環境活動を行うため、環境について学ぶ講演、セミナー等を開催する。
- 3 環境マネジメント推進事業 500千円
[前年 700千円]



[内容] 主に事業所の環境管理者等を対象に、環境に関する先進的取組を行っている企業の見学会を実施する。

4 市町環境連携事業

900 千円



[内容] 市町および市町の推薦する民間団体が企画する事業に対しその一部を助成することにより、県内一円の環境保全活動の活性化を図る。

○助成要件

- ・環境保全に貢献する事業または県民の環境意識向上に寄与する事業
- ・事業費が5万円超、各市町1件の枠

○助成額

- ・福井市：10万円
- ・その他の市町：5万円/件

5 こどもエコクラブ活動促進事業

100 千円



[内容] こどもエコクラブへの登録を呼びかけるとともに、活動しているクラブへの支援を行い活動の活性化を図る。

○助成内容 壁新聞作成および活動に係る経費の支援

○助成額 1万円/クラブ 10クラブ

6 SATOYAMA国内ネットワーク推進

300 千円



[内容] 本県の里山里海湖における生物多様性の保全や利活用の活動を国内のネットワークを通じて県外へアピールする。

- ・ SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク会員との交流会、情報交換

7 親子で環境活動推進事業

300 千円



[内容] 小学生の親子を対象に、『50の自然体験』に関連する自然体験イベントを実施する。

8 プラスチックごみ削減推進事業

300 千円



[内容] 近年大きな問題となっているプラスチックごみの削減のため、身近にできる取組み事例の情報提供などを行うセミナーを開催する。

9 ふくい環境を守るための資格取得支援事業

250 千円

[前年 600 千円]



[内容] 企業、団体会員が環境保全に関係する資格を取得する際の必要経費を補助する。(上限5万円×5団体)

10 カーボンニュートラル普及推進事業【新規】 450千円



[内容] 協議会主催で会員を始め広く一般を対象にカーボンニュートラルカードゲーム体験会を提供する。また、会員がカードゲームファシリテーター資格を取得する際の費用を補助する。

11 エコニュージェネ事業【新規】 100千円



[内容] 環境保全や省エネ活動に参加する次世代人材の発掘、育成を行い、人材の循環を図る。初年度は20代～40代を中心とした若手によるワーキンググループを結成し、具体的な取組内容を検討する。

12 設立30周年記念事業【新規】 500千円



[内容] 協議会設立より30周年を記念して、功労者の表彰や、協議会事業を県内外へPRする。

II 普及広報事業

1,230千円

[前年 3,160千円]



1 情報誌発行事業

[内容] 環境問題や環境教育に関する情報、事業者やボランティア団体等が行う環境保全活動などを紹介する情報誌を発行する。

発行回数 1回(3月頃)

発行部数 3,000部

配布先 協議会会員、小・中・高等学校、図書館、公民館等

2 ホームページ等による普及広報

[内容] ホームページやFacebookを活用し、お知らせやイベント情報を積極的に発信していく。また、会員の活動動画等をFacebookやYouTubeチャンネル等で発信する。

3 メールマガジンの配信による普及広報

[内容] メールマガジンにより、幅広く環境保全活動情報の提供を行う。

4 「ふくいっ子に体験して欲しい50の自然体験」普及広報

[内容] 県・教育委員会と連携し、ふくい子どもたちに体験させたい50の自然体験項目についてのガイドブックのさらなる普及を図る。

発行部数 7,000部

配布先 小学校、環境フェア等

5 各市町環境フェアにおける普及広報

[内容] 県内で開催される各市町の環境フェアにブース等を出展し、環境について県民に考えてもらう機会を提供するとともに、環境ふくい推進協議会の周知を図る。

Ⅲ 県補助事業

1 環境アドバイザー派遣事業

1,196千円



[内容] 事業者、団体、学校、自治会等が開催する研修会へ講師（環境アドバイザー）を派遣する。

2 リペア・リユース推進事業

249千円



[内容] 壊れたものを修理して使う、いらなくなったものをほしい人に譲るなど、修理する文化、リサイクル文化の定着を目指した取組みを実施する。

古本市、おもちゃの病院、おもちゃドクター養成講座、洋服・ぬいぐるみお直し隊養成講座などを開催。

3 家庭の省エネ(デコ活)推進事業【拡充】

29,808千円

[前年 27,164千円]



[内容] 家庭部門のCO₂排出削減に向けて、省エネ行動に対するポイントの付与や自らの行動によるCO₂削減効果の見える化などを通じ、家庭でできる身近な省エネ活動に楽しく取り組む県民活動の輪を拡げていく。令和6年度は専用アプリの運用を開始する。

Ⅳ 環境ふくい未来創造事業【拡充】

[特別会計] 6,000千円



[内容] 県民・事業者等から提供された資金により、福井県環境基本計画を推進する活動を行う団体へ助成する。

○スタート応援枠

・助成対象 団体を立ち上げてから5年未満の団体、もしくは、新しく事業を立ち上げる団体

・助成額 上限20万円/年（最長3年まで助成）

※上限額を10万円から20万円へ引き上げ

○共働活動応援枠

・助成対象 新たに他団体または企業と共働して活動する団体もしくは企業

・助成額 上限50万円/年（最長2年まで助成）

※上限額を30万円から50万円へ引き上げ

V 会議等

下記のとおり会議を開催する。

- 1 総会
内 容 : 令和5年度事業報告および収支決算報告について
令和6年度事業計画(案)および収支予算(案)について
- 2 企画委員会(4回程度開催)
- 3 育成支援部会(2回程度開催)

令和6年度 一般会計収支予算(案)

収入の部

(単位:円)

項目	令和6年度予算額	令和5年度予算額	増減
会費	2,400,000	2,400,000	0
(1) 個人会費	400,000	400,000	0
(2) 事業者会費	2,000,000	2,000,000	0
負担金(県)	3,400,000	3,400,000	0
(1) 県	2,000,000	2,000,000	0
(2) 市町	1,400,000	1,400,000	0
寄附金	0	0	0
繰入金	61,870	0	61,870
諸収入	0	0	0
繰越金	1,685,758	3,489,752	△ 1,803,994
補助金	31,253,000	34,603,000	△ 3,350,000
計	38,800,628	43,892,752	△ 5,092,124

支出の部

項目	令和6年度予算額	令和5年度予算額	増減
運営費	700,000	700,000	0
(1) 総会費	300,000	300,000	0
(2) 諸会費	150,000	150,000	0
(3) 事務費	250,000	250,000	0
事業費	37,183,000	42,263,000	△ 5,080,000
I 環境保全活動促進事業費	4,700,000	4,500,000	200,000
(1) 協議会会長表彰	200,000	200,000	0
(2) ふくいまるごと環境学び舎	800,000	900,000	△ 100,000
(3) 環境マネジメント推進事業	500,000	700,000	△ 200,000
(4) 市町環境連携事業	900,000	900,000	0
(5) こどもエコクラブ活動促進事業	100,000	100,000	0
(6) SATOYAMA国内ネットワーク推進	300,000	300,000	0
(7) 親子で環境活動推進事業	300,000	300,000	0
(8) プラスチックごみ削減事業	300,000	300,000	0
(9) ふくいの環境を守るための資格取得支援事業	250,000	600,000	△ 350,000
(10) 専門家による団体サポート事業	—	200,000	△ 200,000
(11) カーボンニュートラル普及推進事業	450,000	—	450,000
(12) エコニュージェネ事業	100,000	—	100,000
(13) 設立40周年記念事業	500,000	—	500,000
II 普及広報費	1,230,000	3,160,000	△ 1,930,000
III 県補助事業	31,253,000	34,603,000	△ 3,350,000
(1) 環境アドバイザー派遣事業	1,196,000	1,196,000	0
(2) リペア・リユース推進事業	249,000	249,000	0
(3) 家庭の省エネ推進事業	29,808,000	27,164,000	2,644,000
(4) ふるさと環境フェア開催事業	—	5,994,000	△ 5,994,000
繰出金	850,000	850,000	0
予備費	67,628	79,752	△ 12,124
計	38,800,628	43,892,752	△ 5,092,124

令和6年度 特別会計収支予算（案）

1 特別積立金

収入の部 (単位：円)

項目	令和5年度予算額	令和5年度予算額	増減	備考
記念事業積立金（繰越金）	61,870	61,870	0	
繰入金	0	0	0	
諸収入	0	0	0	
計	61,870	61,870	0	

支出の部 (単位：円)

項目	令和5年度予算額	令和5年度予算額	増減	備考
繰出金	61,870	0	61,870	一般会計
計	61,870	0	61,870	

2 環境ふくい未来創造事業特別会計

収入の部 (単位：円)

項目	令和5年度予算額	令和5年度予算額	増減	備考
寄附金	400,000	400,000	0	
繰入金	850,000	850,000	0	一般会計
繰越金	5,023,715	5,067,809	△ 44,094	
諸収入	40	40	0	利息
計	6,273,755	6,317,849	△ 44,094	

支出の部 (単位：円)

項目	令和5年度予算額	令和5年度予算額	増減	備考
環境ふくい未来創造事業	6,000,000	6,000,000	0	
予備費	273,755	317,849	△ 44,094	
計	6,273,755	6,317,849	△ 44,094	